

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して実施した事業の効果検証

	交付対象事業の名称	事業の概要（計画） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費（円）	臨時交付金 利用額（円）	事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業評価・成果等
1	新型コロナウイルス 感染症対策事業	①入手困難なマスクを団体や個人へ製作依頼をし、町が買い上げ、保育園や学校等へ配布し、感染対策へつなげる。 ②手作りマスク購入費 ③個人・団体	357,600	357,600	R2.4.10	R2.5.8	手作りマスクの購入 大人用：293枚 こども用：904枚 提供：278枚 介護施設や教育関係機関、妊婦等へ配布
2	新型コロナウイルス 感染症対策事業	①感染対策用品を学校関係や医療機関等へ配布、また町で備蓄することで感染対策へつなげる。 ②需用費、委託料、負担金 ③学校、図書館等の公共施設管理者、住民、介護施設職員等	13,346,031	13,346,031	R2.4.7	R3.3.31	サージカルマスク(1人5枚)大人用を全戸配布(5045人分) 介護施設1900枚 子ども用(1人5枚)各小中学校(776人) 消毒液：各21字、教育関係11件、医療機関3件等
3	新型コロナウイルス 感染症対策事業	①感染対策における人件費（相談窓口、港等における検温等対応職員超過勤務手当等） ②報酬、職員手当 ③会計年度任用職員、職員	1,794,179	1,794,179	R2.4.30	R3.3.31	4月～翌年1月まで港における感染拡大防止対策を実施（消毒・検温等） 随時、相談対応等(休日、夜間を含む)

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して実施した事業の効果検証

	交付対象事業の名称	事業の概要（計画） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費（円）	臨時交付金 利用額（円）	事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業評価・成果等
4	和泊町内飲食店・宿泊所固定費支援緊急対策事業	①新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響により、飲食店及び宿泊所は大幅な収入減少に加え、今後の収入の目処も立たず経営に多大な支障が生じているため、飲食店及び宿泊所の支援を実施する。 ②町内飲食店及び宿泊所に対して、4月～5月の固定費（家賃、水道光熱費等）の補助を行うことで、客足が回復するまでの支援 ③町内飲食店、宿泊所	4,478,500	4,478,500	R2.5.14	R2.10.1	町内飲食店・宿泊所事業継続に資する支援ができた。
5	和泊町内飲食店利用促進緊急対策事業	①新型コロナウイルス感染症等により落ち込んだ町内飲食店事業者等の経営維持及び従業員の雇用の確保等を図ることを目的とする。 ②町民が飲食店で利用できるチケット、チケット印刷製本費、送料、封筒代 ③町民	17,143,031	17,143,031	R2.5.21	R2.10.20	飲食店で利用できるチケットを配布することにより、飲食店の売りに貢献し、事業継続に資する支援ができた
6	町内宿泊所利用促進緊急対策事業	①新型コロナウイルス感染症拡大に伴う自粛の影響により、宿泊事業者は大幅な収入減少に加え、今後の収入の目処も立たず経営に多大な支障が生じているため、支援を実施する。 ②町民は認定を受けた町内宿泊所に格安価格で宿泊でき、宿泊事業者はその差額を町に請求し、助成を受けることができる ③町民	11,694,600	11,694,600	R2.5.15	R2.9.26	沖永良部島への来島自粛要請により宿泊客が激減していたが、島民が宿泊することで、事業継続に資する支援ができた
7	体験型観光プログラム利用促進緊急対策事業	①新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う外出自粛ムードの中で、体験型観光プログラムを提供する事業者は大幅な減収となり、苦境に立たされている。利用者の落ち込んだ事業所等への需要喚起と、落ち込んだ業績の回復を促す。 ②負担金、補助及び交付金 ③町民	1,935,200	1,935,200	R2.7.1	R2.11.2	新型コロナウイルス感染症等の影響により売上の落ち込んだ体験型観光プログラムを営む事業者に対し、助成金を交付し、事業者の経営維持及びプログラムに対する利用促進等を図ることができた。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して実施した事業の効果検証

	交付対象事業の名称	事業の概要（計画） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費（円）	臨時交付金 利用額（円）	事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業評価・成果等
8	わらんちゃ応援プロジェクト	①コロナの影響により島外に住んでいる和泊町出身の学生たちはバイトも減り、金銭的に困窮な状態にある。親からの仕送りに頼る事になってしまい、島の親の負担増になるので島の農産物と町長と親からのメッセージカードを学生へ送り、島の食材を食べ、メッセージカードを読んでもらい和泊町の魅力を感じ、将来和泊町に帰ってきたいと思い、親の負担を少しでも減らす事が出来るプロジェクト。 ②農産物代、送料、需要費（箱代、メッセージカード作成代、消耗品等） ③島外へ進学している学生（和泊町出身で島外に在住している学生）	1,017,832	1,017,832	R2.6.22	R2.8.12	応募数：146人 学生に物資を送ることで、和泊町の魅力の発信及び保護者の負担減が図られた。
9	海人支援プロジェクト	①新型コロナウイルス感染症の影響により、島内外の消費が減退し、魚価の下落等により、収入が減少した漁業者（沖永良部島漁業協同組合員）に対し、予算の範囲内において、沖永良部島漁業協同組合が事業主体となり、和泊町漁業者緊急対策支援事業助成金を交付することにより、漁業者の経営及び操業意欲の向上を図る。 ②負担金、補助及び交付金 ③和泊町に住所を有する者で、沖永良部島漁業協同組合所属の組合員（正・準）	2,488,167	2,488,167	R2.6.20	R2.8.5	助成者数：40名 漁業者に対し、左記の交付金を交付することにより、漁業経営の安定化及び操業意欲の向上が図られた。
10	海人支援プロジェクト	①島内産魚介類の需要喚起事業として、沖永良部島漁協で実施されるセリにおいて、仲買人の購買価格（原材料購入費）の2割を町が補助する。鮮魚店や飲食店において、島内産魚介類関連商品に限定し、割引シール（2割引き）を商品に貼付けるなど、販売プロモーションを強化する。島内の域内消費を加速化させ、需要喚起を促進することで漁業者及び仲買人の所得向上を目指すとともに魚食普及を推進する。 ②負担金、補助及び交付金 ③対象者：和泊町に住所を有する者で、沖永良部島漁業協同組合に登録の仲買人	1,276,700	1,276,700	R2.6.20	R2.12.22	補助団体数：1団体 鮮魚仲買人への補助及び島内産水産物の販売促進キャンペーンの実施により、漁業者・仲買人の所得向上及び魚食普及の推進が図られた。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して実施した事業の効果検証

	交付対象事業の名称	事業の概要（計画） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費（円）	臨時交付金 利用額（円）	事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業評価・成果等
11	切花生産緊急対策事業	①新型コロナウイルス感染症の影響により、切花の需要低迷で価格下落が続いている花き生産者に対し、出荷に係る経費が販売額を上回っていることから、予算の範囲内において、和泊町切花生産緊急対策支援事業助成金を交付することで出荷に係る経費を助成し、生産者の経営維持及び操業意欲の確保等を図る。島から本土までの輸送コストは奄美群島振興交付金で助成されているため、対象外とする。 ②負担金，補助及び交付金 ③和泊町に住所を有する者で、切花生産出荷団体等	14,125,751	14,125,751	R2.6.19	R2.7.14	交付出荷団体数:9団体 切花生産者：70名 助成金を交付することで、生産意欲の向上が図られた。
12	Web会議環境整備推進事業	①新型コロナウイルス感染症リスクの軽減とテレワークの推進普及を図るため、庁内や関係機関等とのWeb会議の推進を図る。併せて、ペーパーレス化によるSDGsの推進に取り組む。 ②備品購入費，業務委託料 ③地方公共団体，関係町民	5,880,600	5,880,600	R2.6.23	R3.3.11	職員が利用するタブレット端末の購入及び、Wi-Fi環境の整備によりWeb会議の促進が図られペーパーレス化を実現できた。また、島外出張による感染リスクも軽減できた。
13	商工業者サステイナブル支援事業	①新型コロナウイルス感染症の影響は様々な業種に甚大な被害を与えている。国の持続化給付金では要件未達となった事業者についても経営存続の危機に瀕しているため、経営継続を支援することを目的に支援金を給付する。 ②事業者への事業継続支援金 ③商工業者	2,100,000	2,100,000	R2.8.20	R2.12.25	事業者へ事業継続支援金を支給することで、幅広く事業者を支援することができた
14	商工業者パワーアップ支援事業	①新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、「withコロナ」を見据えた足腰の強い事業経営が求められている。新しい生活様式に対応するために事業者が行う感染症予防対策に係る経費を支援する。 ②感染症拡大を防止するために要した経費（資材費・設備・備品等） ③商工業者	5,322,983	5,322,983	R2.8.20	R3.3.29	感染予防対策に係る経費を支援することで、新型コロナウイルス感染症の蔓延防止に貢献することができた。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して実施した事業の効果検証

	交付対象事業の名称	事業の概要（計画） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費（円）	臨時交付金 利用額（円）	事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業評価・成果等
15	安心安全な公共空間 創出事業	①空港、港、各種公共施設等においてサーモグラフィー検査を実施することにより、新型コロナウイルス感染症の水際対策の強化及び感染拡大防止を図る。 ②備品購入 ③空港、港、各集落公民館、学校体育館等の公共施設管理者	1,024,100	1,024,100	R2.8.12	R2.11.30	非接触型体温計やサーモグラフィーを整備し、空港・港及び公共施設等において新型コロナウイルス感染症の水際対策の強化や感染拡大防止を図ることができた。
16	沖永良部バスイノベーション車両導入 事業	①沖永良部バス企業団において、新型コロナ感染拡大防止対策を施した車両を導入することにより、沖永良部島内唯一の公共交通であるバスにおける感染拡大防止を目的とする。併せて、ユニバーサルデザインを取り入れた車両とすることにより利用者の利便性向上を図り、新型コロナウイルス感染終息後の利用喚起、利用者の増を目的とする。 ②沖永良部バス企業団に負担金として支出し、沖永良部バス企業団での車両購入費を交付対象経費とする ③沖永良部バス企業団	20,000,000	20,000,000	R2.8.20	R3.3.18	緊急事態宣言等により利用者数は減少したが、バス利用が必要な交通弱者が安心して利用できる環境を整えることで、減少幅を最小限に抑えることが出来た。5類移行後は利用者数が増加した。
17	沖永良部バス周遊体験事業	①新型コロナウイルス感染症の影響によりツアー収入の落ち込んだ沖永良部バス企業団を支援するため、島民限定の1日乗車券無料販売を実施し、購入券の料金分を島内2町（和泊町、知名町）で補助することにより、島民のバスの利用喚起及び沖永良部バス企業団の財政支援を目的とする。 ②助成金 ③沖永良部バス企業団	569,000	569,000	R2.8.31	R3.3.31	島外からの観光客利用が減少するなか、島民の貸切バス利用を促進することで、沖永良部バス企業団の収入確保が図られた。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して実施した事業の効果検証

	交付対象事業の名称	事業の概要（計画） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費（円）	臨時交付金 利用額（円）	事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業評価・成果等
18	和泊町物産継続サポート事業	<p>①大幅に業績が下落している和泊町内の物産品の利用を促進する。短期の支援と、収束後を見据えた島外の事業者との関係構築や、商品の訴求力向上、産地としてのブランド力向上を企図した支援を実施する。</p> <p>4つの柱で物産事業の継続支援を実施する。</p> <p>1) 固定費支援 2) 物産品購入支援チケット（ちばらーチケットの物産品バージョン） 3) 物産商談会旅費助成 4) パッケージ訴求力向上支援</p> <p>②補助金、旅費、役務費、印刷製本費、需用費 ③物産事業者（和泊町物産協会会員）</p>	4,684,094	4,684,094	R2.8.31	R3.3.12	<p>4つの柱で事業を実施したことで、町民の物産購入及び経済循環を促し、物産事業者の支援をすることができた。</p> <p>1) 固定費支援 【6事業者】 内容：固定費の1/2（上限5万円）×2ヶ月分を補助（最大10万円） 2) 物産品購入支援チケット 【登録店舗21店舗・販売セット数2,400セット】 内容：500円で1,500円分の物産チケットを販売し、物産品の購入を促進 「2,400セットを販売（1世帯2セットまで）」 3) 物産商談会旅費助成 ※実績無し 4) パッケージ訴求力向上支援 ※実績無し</p>
19	オンライン移住ツアー実証事業	<p>①これまで移住体験ツアーを現地において実施してきたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響により、島外からの参加を控えていただくため、オンライン移住ツアーを実証実施する。来島することができない移住検討者に対して動画コンテンツを用いてリアルな情報提供を行うことで、感染予防対策及びアフターコロナの移住促進を図る。</p> <p>②動画コンテンツの企画制作費、オンライン交流会に係るシマの特産品購入費、郵送料、需用費 ③都市部の移住検討者</p>	1,978,032	1,978,032	R2.8.20	R3.3.31	<p>動画コンテンツの作成により、都市部移住検討者に移住後のイメージがつきやすくなり、移住者増加の推進に貢献した。</p>

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して実施した事業の効果検証

	交付対象事業の名称	事業の概要（計画） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費（円）	臨時交付金 利用額（円）	事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業評価・成果等
20	わどまりワーケーション可能性調査事業	①新型コロナウイルス感染症拡大をきっかけにテレワーク、リモートワーク、ワーケーション等の働き方の多様化が進むことで地方への関心も高まりつつある。本町において、首都圏の企業等がワーケーションを実施する可能性を探ることで、関係人口の拡大・移住促進につなげる。 ②インフラ環境整備、体験プログラム・地域交流プログラムづくり、おためしワーケーションモニターツアー実施 ③市部の企業・フリーランス、都市部からの来島者	3,235,702	3,235,702	R2.8.20	R4.3.31	動画コンテンツの作成により、都市部移住検討者に移住後のイメージがつきやすくなり、移住者増加の推進に貢献した。
21	町内こども園等快適空間整備事業	①避難所及び認定こども園において新型コロナウイルス感染症拡大防止を目的として、新規空調換気設備の設置及び、故障及び老朽化している空調換気設備を更新することにより、3密対策を図る。 ②工事請負費、備品購入費 ③町内こども園、私立保育園、小中学校体育館	7,374,000	7,374,000	R2.8.28	R2.11.10	各こども園、保育園に空調を整備することにより、密接した空間を防ぎ新型コロナウイルス感染症拡大防止を図った。 ・こども園3園、私立保育園1園
22	ホームページ環境整備事業	①ホームページにおいて新型コロナウイルス感染症に関する情報発信の強化や、オンライン申請等の推進を図り、自宅にしながら施設の利用状況や予約、より解りやすいシステムにすることにより、「新しい生活様式」に対応したホームページの構築を図る。 ②ホームページの構築（公共施設予約システム整備含む） ③地方公共団体、町民	12,375,000	12,375,000	R2.8.20	R3.3.31	和泊町新ホームページの構築により、新型コロナウイルス感染症に関する情報を迅速に周知でき、様々な情報発信が容易にできる環境となった。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して実施した事業の効果検証

	交付対象事業の名称	事業の概要（計画） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費（円）	臨時交付金 利用額（円）	事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業評価・成果等
23	ごみゼロエコ活動支援対策事業	<p>①新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響により、町内の飲食店等の大幅な収入減を抑える為、現在、外出自粛によりテイクアウトの利用頻度が高い傾向にあり、今後も利用増になる見込があるため、利用可能なエコバッグを各世帯に配付して環境問題解決の第1歩として持続可能なまちづくりに向けて取り組むとともに、飲食店等の支援を実施していく。</p> <p>②町民各世帯に（大・小）二つ配付し、レジ袋削減に協力し、マイバッグ持参を定着させる。</p> <p>③町民</p>	2,519,000	2,519,000	R2.8.20	R3.1.8	町内各世帯及び転入者に大・小2種類(各3,500個)のエコバッグを配布し、マイバッグ持参を定着させた。
24	クリーンセンター労働環境改善事業	<p>①新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言に伴う外出自粛の影響で、家庭ごみが増加し、ごみ処理施設における処理量が増加に伴い作業員の増員等が必要となり、処理施設内における3密の発生等の労働環境の悪化が発生していることから、処理施設の改修を行い労働環境の改善と3密防止による感染防止に取り組む。</p> <p>②事業主体である沖永良部衛生管理組合へ負担金として支出し、沖永良部衛生管理組での工事請負費を交付対象経費とする。</p> <p>③沖永良部衛生管理組合</p>	30,130,000	30,130,000	R2.8.20	R3.3.31	<ul style="list-style-type: none"> ・1・2号炉白煙防止用空気予熱器伝熱管更新一式 ・1・2号炉バイパスダストコンベア更新一式 等 <p>機械設備等の整備により、機能向上に伴う作業の効率化及び従事する職員の労働環境改善が図られた。</p>
25	屋内イベントオープンエア化推進事業	<p>①新しい生活様式の変更に伴い今まで行われていた屋内イベントの開催や収容人数が少なくなり開催が難しくなっている為屋外イベントへの変更を行う為に屋外用ステージを購入しイベントを屋外へ推進し新しい生活様式でのイベントの開催を行っていく。</p> <p>②備品購入費</p> <p>③地方公共団体</p>	1,040,400	1,040,400	R2.8.20	R2.12.16	新しい生活様式でのイベント開催ができた。 購入張数：1張

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して実施した事業の効果検証

	交付対象事業の名称	事業の概要（計画） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費（円）	臨時交付金 利用額（円）	事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業評価・成果等
26	畜産農家経営継続推進事業	新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、5月沖永良部セリ市において、和泊町のセリ平均価格が前回比で▲128,735円急落した。生産者の経営継続意欲低下が懸念されるため、今後の経営継続に前向きに取り組んでもらえるよう、5月セリ市で上場された子牛1頭に対し、3万円の支援金を交付する。 ②事業継続支援金3万円/頭 ③町内畜産農家	9,090,000	9,090,000	R2.8.20	R2.10.16	交付対象者：108名 交付対象頭数：303頭 交付単価：3万円/頭 生産者の経営継続に対する意欲向上が図られた。
27	畜産農家体験プログラム	①新型コロナウイルス感染症の影響により、牛肉の消費が落ち込み、畜産農家の廃業が危惧され、また本町の畜産農家戸数は高齢化に伴い、減少傾向にある。そうした中で、和泊町内のこどもたちが畜産農家を体験することで、畜産の魅力を感じてもらい、農業高校や農業大学校等への進学、将来の畜産農家創出等が期待される。また、食農教育の一環として、牛の出産から出荷までの過程を体験することで「命の大切さ」や「生き物を育てることの難しさ」を学んでもらう。 ②保険料・受入農家謝金・参加者特典（牛肉1kg等）・その他資材代等 ③和泊町内在住の小学6年生～高校生まで	226,160	226,160	R2.8.20	R3.3.23	参加児童：5名 受入農家：3名 実施回数：11回 畜産業の魅力を感じることで、「命の大切さ」や「生き物を育てることの難しさ」を学び、畜産業のPRを図った。又、実際に参加児童の親1名が畜産業を開始した。
28	和泊町切花出荷資材支援事業	①新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、生花の需要減少の中、花き生産者は大幅な減収や経営難に陥っていることから、予算の範囲内において、和泊町切花出荷資材コスト支援事業助成金を交付することで出荷に係る経費を助成し、生産者の経営維持及び次期作に向けての生産意欲の充実を図る。 ②切花出荷団体の5月～7月の奄美群島外（沖縄経由含む）への出荷段ボール等の箱数 ③ 奄美群島農林水産物等輸送コスト支援事業を実施している 花き出荷団体及び組合員	4,804,610	4,804,610	R2.8.20	R2.10.9	出荷団体数：8団体 対象箱数：74,955個 基準単価：64.1円 生産者の経営維持及び次期作に向けての生産意欲の充実が図られた。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して実施した事業の効果検証

	交付対象事業の名称	事業の概要（計画） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費（円）	臨時交付金 利用額（円）	事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業評価・成果等
29	沖永良部島水産加工 イノベーション事業	<p>①新型コロナウイルス感染症の影響により水産物の需要が低迷し、漁獲量の減少及び島内外に出荷される魚価の下落が著しい状況にあり、漁業者の経営は厳しさを増している。島内産鮮魚加工用機器の導入により、付加価値を生み、長期保存が可能な商品開発に取り組むことにより、安定的な出荷及び新たな販路開拓が期待できる。本事業を活用し、H A C C Pシステムを導入した水産物の6次産業化に取り組むことにより漁業者の経営安定化を図る。また、機械化により作業の効率化が図られ作業人員を削減できることからコロナウイルスの感染リスクを回避することが可能となる。ステイホーム要請時又は大型台風時には、保存食として水産物の需要増加が見込まれるため漁協の直販システムを構築し、消費者ニーズに対応できるよう体制を整備する。</p> <p>②冷凍ソデイカ商品、刺身加工用に小型G A S充填真空包装機を導入 島内産鮮魚干物加工用に特殊冷風乾燥機を導入 異物混入検知のため、金属探知機を導入 食品衛生管理の「見える化」を図るためH A C C Pシステムを導入</p> <p>③沖永良部島漁業協同組合加工場</p>	4,042,500	4,042,500	R2.9.7	R3.3.31	補助団体数：1団体 沖永良部島漁協に対し、左記概要の機器導入に係る経費の一部を補助したことにより、水産加工品の生産技術及び品質管理レベルの向上並びに加工品の普及が図られた。
30	沖永良部空港水際対策強化事業	<p>①新型コロナウイルス侵入防止のための水際対策による空港の検温業務</p> <p>②検温業務従事者の人件費</p> <p>③沖永良部空港職員、沖永良部空港</p>	1,407,375	1,407,375	R2.8.20	R3.3.31	沖永良部空港における全降機者への検温。37.5℃以上の発熱者にはアンケートを実施し体調確認。
31	サイクルタウン構想 推進緊急対策事業	<p>①移動時における新型コロナウイルス感染症防止のための3密対策として、自転車が注目されている。新型コロナウイルス感染症リスク低減対策と自転車活用を推進を図る。併せて、排ガス低減によるSDGsの推進に取り組む。</p> <p>②町民が自転車購入した費用を助成する。</p> <p>③上和泊町に住所を有する18歳以上の者。町内の自転車販売店で自転車を購入した者。1人当たり1回に限る。</p>	3,874,000	3,874,000	R2.8.31	R3.3.31	自転車購入代金の半額（上限3万円）を補助。 補助対象者数 139名

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して実施した事業の効果検証

	交付対象事業の名称	事業の概要（計画） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費（円）	臨時交付金 利用額（円）	事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業評価・成果等
32	避難所施設環境整備事業	①研修センター・各小中学校は避難所として指定されており、また研修センターは、新型コロナウイルス感染拡大に伴う学校休業中の放課後児童クラブの活動にも利用されているが、施設全体の老朽化により利用に支障をきたしている。建物全体の屋上防水工事、トイレ改修(洋便器化、ドライ床化)、研修棟改修(緊急時対応型少人利用対応化)、LED化で3密対策を行い、安心・安全に利用できる環境を整備する。また、3密を避けるため、屋外活動を安心安全に行える環境整備のため、各小中学校の夜間照明のLED化を行う。 ②施設改修費 ③和泊町立研修センター・各小中学校	43,880,656	43,757,056	R2.9.1	R4.3.31	・研修センター トイレ改修 81㎡ 研修棟改修 99㎡ 多目的ホール天井張替 一式 屋上防水改修 1,405㎡ ・施設の防水工事・トイレ改修等により感染リスク低減を図られ宿泊者が安心して利用できる環境整備も図られ感染症拡大防止にも繋がった。
33	学校施設感染症対策環境整備事業	①学校施設等において新型コロナウイルス感染症拡大防止を目的として、空調換気設備の設置や間仕切り壁の設置、遊具の改修を行い、3密対策や快適空間の整備及び熱中症対策を行う。 ②工事請負費、備品購入、遊具改修費 ③町内小中学校	20,310,245	20,310,245	R3.1.4	R4.3.31	・空調設備 和泊小 7台 和泊中 3台 城ヶ丘中 3台 ・快適空間の整備及び感染症拡大防止・熱中症対策ができた。
34	公立学校情報機器整備・GIGAスクール構想支援事業	ICTの活用により全ての子どもたちの学びの保証できる環境やオンライン授業・業務のデジタル推進を目的とし、GIGAスクール構想の更なる加速・強化等に対応や業務デジタル化を推進する環境整備を行う。 ②情報端末・WEBカメラ・プロジェクター・システム構築費 ③町内小中学校	65,163,818	47,167,818	R2.9.17	R3.3.31	・情報端末 670台 ・液晶テレビ 29台 ・WEBカメラ 8台 ・プロジェクター 1台 ・校務支援システム構築 一式 ・GIGAスクール構想の更なる対応ができデジタル化推進の環境整備の充実により感染症拡大防止につながった。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して実施した事業の効果検証

	交付対象事業の名称	事業の概要（計画） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費（円）	臨時交付金 利用額（円）	事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業評価・成果等
35	障がい者に優しい労働環境整備事業	①障害者就労支援事業として利用している施設等において、トイレや休憩室において、空調設備及び換気設備が整っておらず、施設内の空気の循環向上及びトイレにおいても、利用者数に対して不足しており、増設等し個数を増加をすることで3密を防ぐことが出来る。 ②補助金 ③障害者就労支援関係施設	1,588,000	1,588,000	R2.8.20	R3.1.4	障害者支援施設の空調整備等を改善し、3密を防ぎ感染の抑制となった。 ・さねんダクト1か所 ・換気扇4か所 ・トイレ増設1か所
36	障がい者雇用継続支援事業	①現在、障害者就労支援事業において、販売用布マスクの製造を行っているが、新型コロナウイルス感染拡大に伴うマスク需用の増加に対応するため、生産設備を整えることで、加工精度の向上及び就労内容の拡充に繋がる。 ②備品購入費 ③障害者就労支援施設	600,000	600,000	R2.8.20	R3.1.4	感染対策に必要なマスク等の製造が増加し、その他の就労内容にも円滑に取組むことができた。 ・ミシン、ドライバー等の備品購入費
37	図書館システムオンライン化整備事業	①図書館サービスの電子処理化を目的とし、町立図書館及び町内の小中学校の図書室との連携を図り、行政手続きのオンライン化を目指す。 ②システム構築費 ③町立図書館・各小中学校図書室	9,255,400	9,255,400	R2.6.25	R2.10.12	・図書館システム構築一式 ・オンライン化になり図書館サービスも充実し、利用者の感染症拡大防止対策も図ることができた。
38	和泊町SDGs推進事業	①新型コロナウイルス感染症などの災害・危機に強いまちづくりを進めるため、脱炭素社会やレジリエンスなまちづくりの実現に向け、SDGs17の目標の対する町独自のローカル指標を設定し、町民と行政が一体となって取り組む計画を策定する。 ②業務委託料 ③町民	3,998,500	3,998,250	R2.10.15	R3.9.30	・SDGs達成に向けた「町民3大運動」及び「全庁3大運動」の制定

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して実施した事業の効果検証

	交付対象事業の名称	事業の概要（計画） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費（円）	臨時交付金 利用額（円）	事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業評価・成果等
39	新生児臨時特別給付金給付事業	①新型コロナウイルス感染症拡大の影響の大きい妊産婦・新生児の安心安全な子育て環境の充実を図るため、国の特別給付金の基準日以降に出生した新生児に対し、特別給付金を支給する。 ②特別給付金 ③4/28以降に出生した新生児	4,500,000	4,500,000	R2.12.18	R3.3.31	新型コロナウイルス感染症が流行する中、新生児を育てる子育て世帯に対し、給付金を給付することで経済的支援を行った。 100,000円×45人
40	和泊町農業経営収入保険制度加入促進事業	①新型コロナウイルス感染症の影響等による価格低迷や、自然災害等による農業者の経営努力では避けられない収入減少を補償する農業経営収入保険制度に初めて加入した農業者に対し補助金を交付することで農業者の経営安定が図られる。 ②収入保険制度加入者が負担する保険料に要する経費の一部（上限10万円） ③和泊町に住所を有する農業者（法人にあっては主たる事務所を和泊町に有する）	1,132,000	1,132,000	R2.8.20	R3.3.31	交付件数：15件 農業者の経営安定が図られた。
41	子ども・子育て支援交付金	①新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休業に対応するための放課後児童健全育成事業を実施するため ②放課後児童健全育成事業補助金 ③町内4小学校	560,000	131,000	R2.10.1	R3.3.31	小学校の臨時休校時に開所し、保護者の負担軽減を図った。 ・4校区の放課後児童クラブ×7日間
42	学校保健特別対策事業費補助金	①学校における感染症対策，教職員の資質向上及び児童生徒の学習保障をする体制の整備を促進するため。 ②衛生用品及び学習用品等の購入費 ③町内小中学校	5,833,575	2,917,575	R3.1.13	R3.3.26	空気清浄機等の購入で教職員・児童生徒の感染症対策ができ、学修保障体制の整備が図られた。 ・空気清浄機 41台 ・アルコール消毒液 170個他

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して実施した事業の効果検証

	交付対象事業の名称	事業の概要（計画） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費（円）	臨時交付金 利用額（円）	事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業評価・成果等
43	学校臨時休業対策費補助金	①学校給食食材納入業者が、学校再開時に安定的に事業を継続できるよう、体制維持等に必要な取組に対し支援する。 ②食材納入業者への体制維持補助金 ③パン納入業者、牛乳納入業者	266,439	72,866	R2.4.7	R2.11.24	コロナ休校による給食納入業者の収入減分の補填として支援を行い事業継続のための体制維持ができた。
44	奄美群島振興交付金	①沖永良部島の自然や魅力を活かし、屋外での開放的なプログラム（オープンエア型プログラム）の造成と、それに伴う観光産業従事者の人材育成、訴求力の高い動画の制作配信を行い、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により落ち込んだ観光需要の回復を図る。 ②事業を実施するおきのえらぶ島観光協会への補助金 ③おきのえらぶ島観光協会	34,623,000	5,208,500	R2.6.19	R4.2.28	沖永良部島の自然や魅力を活かし、屋外での開放的なプログラム動画の制作により訴求力の高いPRが可能となり、観光需要の回復につながった。
45	奄美群島振興交付金	①認定エコツアーガイドと地域通訳案内士の連携によるスキルアップとともに、オンラインツアーの実施、ガイドツアーに特化した動画の制作配信による観光客へのPR及びモニターツアーを実施し、観光客の誘客、満足度向上及び滞在促進を図る。 ②事業を実施する奄美群島広域事務組合への負担金 ③エコツアーガイド等	9,706,437	314,000	R2.6.19	R3.3.31	奄美群島広域事務組合が実施する認定エコツアーガイド・地域通訳案内士事業の一部費用を負担し、オンラインツアーの実施、ガイドツアーに特化した動画の制作配信による観光客へのPR及びモニターツアーを実施し、コロナ禍・コロナ後を見据えた観光客の誘客、満足度向上及び滞在促進を図ることができた。
46	奄美群島振興交付金	①群島内在住者（離島割引所有者）が自分の島や近隣の島々の魅力を知ることにより、奄美群島の潜在的可能性を広く国内外に情報発信し、観光客の滞在促進につなげる。 ②事業を実施する奄美群島広域事務組合への負担金 ③奄美群島観光物産協会	21,825,581	351,000	R2.6.19	R3.3.31	奄美群島広域事務組合が実施する各種事業の一部費用を負担し、コロナ禍・コロナ後を見据えた観光事業への支援を行うことができた。

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して実施した事業の効果検証

	交付対象事業の名称	事業の概要（計画） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業費（円）	臨時交付金 利用額（円）	事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業評価・成果等
47	新型コロナウイルス 対応型公園等再整備 推進事業	①新型コロナウイルス感染症の影響により、子供連れの家族が屋外でのレジャーを楽しむ機会が多くなっている。公園等での新型コロナウイルス感染のリスクの軽減と外出自粛によるストレス発散の場の創出の両立、コロナ終息後の多様なイベント等の開催、観光客等の利用促進を図るため、公園の再整備による多目的エリアの拡張を実施する。 ②業務委託料 ③笠石海浜公園	3,000,000	3,000,000	R3.3.12	R4.3.31	コロナ禍・コロナ後を見据えた公園の再整備により、地域の活性化及び観光客等の利用促進を図ることができた。